



俳句

稲井爽秋 選

雪吊りの縄張りつめて裏日本  
 古民家の庭に数輪水仙花  
 年の暮明日を信じて歩みゆく  
 恙無く生きて卒寿の除夜の鐘  
 妻と歩みて六十一年の年迎ふ  
 雪国の酷しき知らず日向ぼこ  
 趣味一つ生き甲斐として春を待つ  
 つちふるや征きて還らぬ戦友忍ぶ

川柳

伊藤凡々 選

これからだ余生等ではない八十路  
 枇杷の花毛布被って雪に耐え  
 鈴の音について行きたい高野山  
 久し振り法事に集い寄る身内  
 八十八曾孫の笑顔見る至福  
 孫達のやさしい笑顔いやされる  
 冬至の湯老夫婦には柚子二つ  
 遠くからやさしいハートくれる孫

短歌

藤田虎雄 選

松竹梅を生けて炬燵で除夜迎へ九十年の思ひこもごも  
 矢野シヅエ  
 元旦や年の始めを寿ぎて更に卒寿を祝ううれしさ  
 鈴木千恵子  
 特急「しおかぜ」に息子や孫たちを見送れば  
 青木タクヨ  
 また会えるやと名残り一入  
 鏡餅焼けば幼く晴れ着着て火鉢囲んだ兄弟思ふ  
 三好靖子  
 厳冬に米研ぐ水の冷たきよ老いの身独りの辛  
 宮田 忍  
 さに耐え居り  
 一昨年は優に届きし棚の上 背伸びをすれど  
 今届かない  
 青空に白銀光る駒ヶ岳手に持つカメラのレンズを覗く  
 加藤千賀子  
 亡夫との六十回目の結婚記念日なり植えし松苗堂々とたつ  
 垂水多喜代

俳句・川柳・短歌 作品募集

作品(俳句・川柳・短歌の別を書き、漢字にはふりがなを振ってください)・住所・氏名・電話番号を明記し、毎月1日までに担当課へ郵送・持参してください。

応募先  
 〒793-8601 明屋敷164  
 市庁舎本館 総務課 広報情報係  
 TEL 0897-52-1204 (直通)

Your Friendly Neighbors

世界のゆかいな仲間たち

No.83 日本に来てよかった



時間がたつのは本当に早いですね。中国の青海省から西条市に来てもう二年半余りたちました。日本に来たころは、仕事も日本語もよく分からなくて悩みました。ホームシックになり、「言葉も分からないし、日本人も厳しいし、そんな所へ行ってどうするの」という両親の忠告も思い出しました。でも会社の方が、いろいろと教えてくださったおかげで、だんだん仕事や生活に慣れました。一日の仕事が終わって少し疲れていても、



▲技能実習生

● 蘇 静 (そせい) さん

天気がいい時はときどき海岸を散歩します。そんな時、知らない人が「こんばんは」と優しい声で挨拶してくれると、一日の疲れが消えて元気になります。

一番うれしかったことは、丹原公民館の日本語教室の先生や友だちと出会えたことです。最初に出会ったのは一年余り前です。その時はまだ日本語が話せないだけでなく、声を出す勇氣もなかったです。発音がおかしい、笑われるかもしれないと気になりました。でも先生は丁寧に教えてくださり、「大丈夫ですよ、もう一度」「蘇さん、すごいですね」と優しく励ましてくださり、だんだん自信が持てるようになりました。そして去年の12月には日本語能力試験の2級を受けました。まだ合否は分かりませんが、受験のチャンスがあっただけでも嬉しいです。もし先生のご支援がなかったら、私は試験を受けるところか、日本人と話すこともあまりなかったかもしれません。(編集部注：試験には見事合格されたそうです)

ある日電話で、「日本人、とても優しいよ。私、もう強くなったよ」と家族や友だちに伝えたら、みんな安心してくれました。日本に来て本当に良かったと思います。来なかったらいろいろいるなことが一生分らなかったかも知れません。今はまだ人生は始まったばかり、これからの道はもっと難しくなるかも知れません。でも私はいつも笑顔で自信を持って自分の道を歩きます。今、西条市の皆さんには、心から感謝の気持ちでいっぱいです。本当にありがとうございます。これからもよろしくお願ひします。

特集記事 支所だより S I C S 情報最前線 お知らせ 催し 講座・教室 募集 施設ガイド 人権・同和教育他 ふるさと産品 カメラスポット 各種相談 保健センター 当番病医院 広報さいじょう 他